

美郷の魅力をPR 美郷町ふるさと大使

美郷町ふるさと大使

町の観光資源や物産などを広く情報発信するため、町とゆかりのある6名の方々に「美郷町ふるさと大使」を委嘱しています。大使の皆さんには、友好都市大田区で開催されるイベントの誘客や、清水・ラベンダーなどの写真が印刷された特製名刺の配布などの観光宣伝活動にご協力いただいています。



近藤さんご夫婦（藤清水前で）

近藤 和幸さん

- 東京都公衆浴場業生活衛生同業組合大田支部支部長
- 東京都府中市役所都市計画課勤務を経て、28歳のときに3代目として家業の公衆浴場業を継ぎ31年が経過
- 趣味はテニス、ゴルフ、スキー、ヨガ、剣道など
- お祭りが大好きで、熊野神社氏子青年会会長として御神輿の世話役を務める
- 東京都大田区在住59歳

美郷町への想い

近藤 和幸

3年前に「第1回おた商い観光展」が開催され、その交流会の席において美郷町商工観光交流課の職員の方々と意見交換をいたしました。『お互いが協力をすれば何かができるのではないか』という熱い思いの話がきっかけでした。大田区友好都市である美郷町と、大田浴場連合会とで新しい事業を取り組んでみようと考えました。そこで、銭湯で秋田県美郷町プチ物産コーナーを作り、仁手古サイダー、りんごサイダー、奥清水、

いぶりがっこなどを紹介し販売すると新聞、大田区報、雑誌、テレビなどに取り上げられ大変な反響があり、大田区内で1年に5,800本ものサイダーが販売されました。

さらに10月10日は『銭湯の日』として毎年セントウ祭を開催しており、一昨年より美郷町さんにご協力をいただき、美郷米を2,320kg、仁手古サイダー、りんごサイダー合わせて1,392本を入浴するお客様にプレゼントいたしました。

すると「美味しいお米だ、サイダーも美味しい」との声が多数返ってきました。最近は入浴せずに

サイダーや漬物だけを買ってくるお客様も増えてきています。私たちも自慢できるイベントができて大変嬉しく思っており、これからも継続してさらに新たな取り組みができればと望んでおります。

昨年11月30日〜12月1日に美郷町を訪問させていただきました。感動したのは自然に恵まれた六郷湧水でした。そこでいただいた水の美味しさに「仁手古」の由来を実感することができました。また、この地域では水道管が埋設されていないと説明を受け驚きました。そのような自然環境は宝であり羨ましく思います。

時がゆつたりと流れて優しい皆さんの故郷を愛する心があるからこそ、こんなにも美味しい農作物、サイダー、お酒などが生まれてくるのですね。この素晴らしさをアピールする事が大切と考えます。

歴史、郷土、自然を守り、そこから新しい観光、産物、祭、蔵、B級グルメなどをインターネットで発信したり、「六郷湧水」というアプリケーションを開発・紹介することで全国にパワースポット湧水群を話題化することも有効なのではないのでしょうか。まさに温故知新だと思えます。

※アプリケーション

ある特定の目的のために設計されたソフトウェア。



美郷町プチ物産コーナー前で（写真左は松田町長）



北の空 君は無限の可能性

平成23年度全国高等学校総合体育大会

2011 熱戦再来 北東北総体

開催まであと

1 カ月

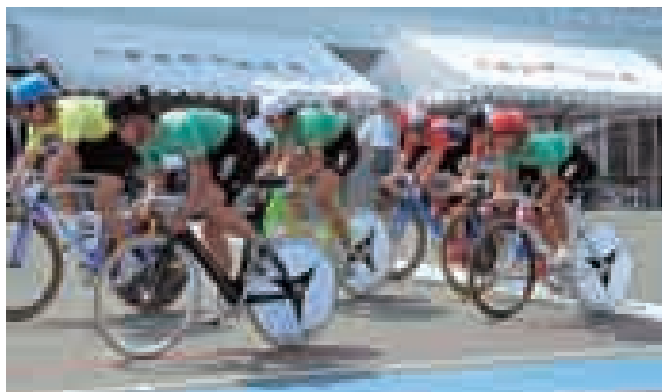
北東北総体 自転車競技の日程

開会式	8月8日(月) 美郷総合体育館リリオス
トラックレース	8月9日(火)~11日(木) 美郷町自転車競技場
ロードレース	8月12日(金) 仙北市田沢湖周回特設コース

インターハイ出場選手が決定

6月4日から6日にかけて第57回秋田県高等学校総合体育大会の自転車競技が行われ、美郷町自転車競技場を会場にトラック競技が開催されました。競技には県内の高校生約40名が出場。東北大会出場権をかけてそれぞれの種目で白熱したレースが展開され、たくさんの観客が選手たちに声援を送りました。

東北大会は6月17日から19日にかけて青森県八戸市で行われ、インターハイ出場選手が決定しました。



インターハイに出場する県内選手 (敬称略)

- 1 kmタイムトライアル**
牧野恭平 (能代西)、渡辺瑞樹 (大農太田)
- スプリント**
進藤拓実 (大曲農業)、荒屋鋪邑弥 (六郷)
- ケイリン**
草薨 駿 (大曲農業)
- ポイントレース**
高橋大輝 (大曲農業：六郷中学校出身)
飯坂博一 (能代西)
- 3 kmインディビジュアルパシュート**
加賀谷慶治 (能代西)、佐藤隆大 (大曲農業)
伊藤祐太 (六郷)
- スクラッチ**
畠山史也 (大曲農業：六郷中学校出身)
坂本 圭 (六郷)、佐藤慎輔 (大農太田)
- 4 km速度競走**
門脇 翼 (大曲農業)、伊藤悠貴 (能代西)
田村亮二 (六郷：千畑中学校出身)
- チームスプリント**
大曲農業高校／高橋大輝 (六郷中学校出身)、
門脇翼、進藤拓実、煙山直弥 (千畑中学校出身)
- 4 kmチームパシュート**
六郷高校／伊藤祐太、荒屋鋪邑弥、田村亮二 (千畑中学校出身)、
坂本 圭、荒屋鋪拓也、山代貴則 (千畑中学校出身)
能代西高校／加賀谷慶治、牧野恭平、伊藤悠貴、飯坂博一
- 個人ロードレース**
高橋大輝 (大曲農業：六郷中学校出身)

秋田県で最初の大会は美郷町

明治45年、秋田県で初めての「自転車競走」が、ここ美郷町 (当時の六郷町) で行われました。『六郷町史』に当時の様子が記されています。

自転車は日本に最初に入ってきたのは、明治23年ごろといわれています。その頃の自転車はかなりの貴重品でしたが、明治30年以降になると当時の六郷・大曲・横手地域にも普及し始めます。

秋田県で初めての「自転車競走」が行われた翌年の大正2年、地域の若者有志が集まり『六郷青年団』が組織され、町内の各小学校のグラウンド

で「自転車競走大会」が行われました。大会といっても当時は競技用自転車があったわけではなく、仮装や音楽・花火ありのお祭りだったようです。

昭和36年に旧自転車競技場が完成してからは、自転車競技の県大会はすべてここ美郷町で行われるようになりました。また、昭和36年の秋田国体、平成19年の秋田わか杉国体など、全国規模の大会も行われています。

秋田県初の大会からおおよそ100年。数多くの名選手を生み出してきたこの町で、インターハイが行われます。当日はぜひ会場に足を運び、未来の名選手たちに熱い声援をお願いします。